

キャッシュレス時代の

「子どもとお金」

お金について親子で話し合ったことがありますか？

お金は私たちの暮らしを守り、向上させるために大事なものです。しかしクレジットカードや電子マネーなどの登場によって、お金の形態もずいぶん違ってきました。ここで1度、親子でお金の役割と価値を見直し、お金と上手につきあう方法を考える必要があります。

どうしたらいい？

子どもの金銭感覚



■ ケータイの高額な料金

共働きをしているため、子どもにケータイを持たせています。連絡や安全のため、または、1人にさせる寂しさを補う面もあります。でも、その費用が5,000円近くにも。先日は、無料サイトに接続する際の



ポケット代2万円を請求されて！わが家の食費は3万円なのに。

■ お手伝いの報酬

よい点数を取ってきたらおこづかいをあげるというのは問題だろうなと思っても、ついはげみになればと。では、草取りなどの手伝いをしたらお金をあげる、買い物に行ってくれたらお駄賃をあげるというのは、どう



なのかしら？ お金とは関係なく勉強も手伝いもしてほしいけれど。



■ お金は銀行に行けばいくらでもある

5歳の息子は、お金は銀行からわいてくると思っています。「お金がないから、がまんしなさい」というと、「銀行に行こう、銀行にはたくさんお金があるから、おろせばいい」といいます。銀行は働いて得たお金を預ける



ところ、お金は汗して働いて得るものと、教えたいけれど。

■ 電子マネーで買い食いざんまい

電車で塾通いをしている小学5年の男子。電子マネーのカードをもたせていますが、塾の帰りに駅構内やコンビニでジュースやお菓子を買い食い。食生活も心配ですが電子マネーは使った実感



がなく使いすぎに。計画的に考えてとっていますか…。

■ ネットショップで親の知らぬ間に買い物

小学6年の女子。ネットショップで、CDを購入したのを、送られてきた請求書ではじめて知りました。法外な請求を受けたり、買いすぎたり、トラブルにまきこまれないか、心配



です。親はインターネットについて詳しくないので、購入するときは話してね、といっていますが、どうしたものか。

お こづかいは子どもが、モノを選んだり、ほしいものをがまんしたり、ためてから購入する方法を学ぶチャンスです。親子ともに金銭感覚だけでなく、判断力や決断力、粘り強さやがまんする心、自立心なども身につけるきっかけになるでしょう。

小 さいときに身につけた金銭感覚は大人になっても簡単に変わらないといえます。今回は、子どものおこづかいを通して、お金の役割や価値を見直し、お金の上手につきあい方について子どもと一緒に考えたいと思います。

そ もそもお金は物々交換の時代に生活をより便利にするために生まれたもの。ものを買ったり、仕事をしたときに賃金としてもらったり、しばらくためておいて必要なときや困ったときに使ったり、モノの価値を値段で比べたりすることができるといえるのがお金です。こんな大事な役割をもつお金を、上手に使って、くらしに生かすには、小さいときからの地道なお金とのつきあい方が大事です。

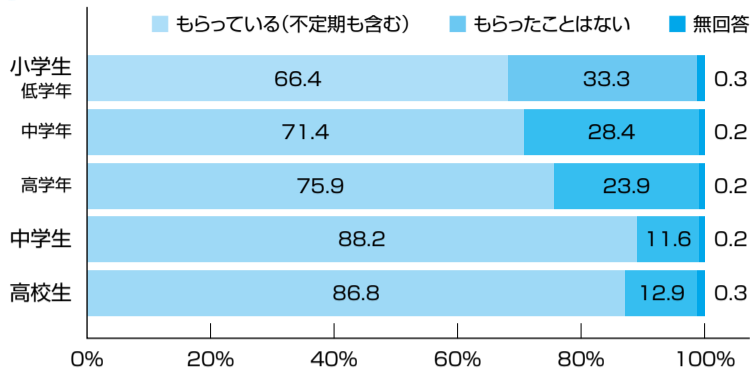
家 族のくらしを支えるためのお金の形態は、給料の振込みや諸経費の自動振替にはじまり、クレジットカードやデビットカード、電子マネーの登場で、大きく変化してきています。お金は昔のように紙幣やコインなど目に見えるものだけではないのです。同時にお金を得るために一家の大黒柱が額に汗して働く姿も見えにくくなってきています。

小さいときから育てたい お金の 上手につきあい



おこづかい統計書

① おこづかいをもらっている割合



② おこづかいの額

ときどきもらう	学年	最頻値	平均値	中央値
		小学生 低学年	100円	760円
月に1回もらう	中学年	100円	854円	300円
	高学年	1,000円	1,046円	550円
月に1回もらう	小学生 低学年	500円	901円	500円
	中学年	500円	812円	500円
	高学年	1,000円	1,122円	1,000円
	中学生	2,000円	2,738円	2,000円
	高校生	5,000円	5,590円	5,000円

③ おこづかいの使いみち(複数回答)

	飲食物(おかしやジュース)	ノートやえんぴつなど	まんが	本や雑誌	親へのプレゼント	CD・MDの購入	友人との外食・軽食代
小学生 低学年	42.4	29.7	23.3	15.1	21.6	-	-
中学年	55.3	34.7	44.8	23.9	33.2	8.5	-
高学年	61.7	34.0	63.2	42.6	42.6	25.6	14.4
中学生	72.0	58.5	74.0	59.2	41.4	59.6	56.8
高校生	81.3	50.6	69.8	66.3	40.7	70.3	75.7

※中学生・高校生では「本や雑誌」は「小説や雑誌」。

資料:マネー情報知るほど 金融広報中央委員会「平成17~18年度調査結果」より

わが家のおこづかい方針を考える際の5つの要素

- 1 おこづかいを与える年齢**
学齢期に達してからおこづかいを与える家庭が多くみられます。幼児期までは買い物を通してお金の役割などを体験させましょう。
- 2 おこづかいの渡し方**
月に1度、週に1度、毎日などと区切って定期的に与えるか、ほしいといったときや、必要なときに親の判断で与えるかなどを考えます。高学年になるほど月に1度、定期的におこづかいをもらう子がふえてきます。
- 3 おこづかいの金額**
子どもが管理できる金額で、かつ家計に見合った金額を決めます。左表の子どもの平均おこづかい額の統計を参考に、わが家の場合を考えてみましょう。
- 4 おこづかいの使い道**
使い道を遊びや趣味、嗜好品の購入などに限るのか、本やノートなど学習に必要なものもおこづかいから出すのかなど、やりくりの範囲を決めます。
- 5 特別な収入**
お手伝いしたときのお駄賃、お誕生日やクリスマスのプレゼント、お年玉など特別バージョンの収入についても話し合っておきます。

まだ自分で働くことができない子どもは収入源はおこづかいです。金融広報中央委員会の平成17~18年度調査によると、小学生の場合で約7割が、中学生や高校生では8割以上が、おこづかいをもらっています(左表参照)。不定期にももらう場合

おこづかいの与え方について夫婦で方針をはっきりさせよう

も含める。お金の使い方には親も含めて、多量なりともそれぞれの家庭のルールや方針があるはず。おこづかいを与える前に、夫婦で「わが家のおこづかい方針」を話し合っておきましょう。金融広報中央委員会のサイト「知るほど」(www.shinporito.jp)には、子どものおこづかいに関する統計やお話が出ています。参考にしてみてください。

子どもにおこづかいを与えて、お金の使い方を教える

わが家のおこづかい方針を決めたら、祖父母やきょうだいにも伝えておきましょう。そして、夫婦の一方がうっかり方針を破るようなことがないように注意しましょう。

幼児期は買い物体験、学齢期はおこづかいで金銭感覚を

幼児期には、買い物に連れていき、体験を通してお金の役割や価値について教える。おこづかいで金銭感覚を養う。おこづかいを渡すときは、お金の価値を比べながら買物をする姿、お金の払い方やおつりのもらい方、レシートとの照合などの様子も子どもに見せたい。お店が込み合っていないときを見計らって、自分でおやつを選んで、お金を払う体験もさせてみましょう。

ら、定期的なおこづかいと「わが家のお金のルール」を提案します。買い物には、ほしいものを買うとき、必要なものを買うときがあり、また、ほしくても必要でないもの、金額が高いときにはがまんしなければならぬことがあります。どうしてもほしいものは計画的にお金をためてあつめて買う方法もある、ということを話します。

おこづかいの使い方には親は口出ししないで見守ろう

おこづかいが小学校低学年、中学年のうちは、コインで与え、一緒におこづかい帳もわたすといひましょう。1円、5円、10円、50円、100円を組み合わせ、本人が勘定し、確かめてからお財布に入れます。おこづかい帳は、入ってきたお金、買い物をして出て行ったお金を記入できる簡単なものでよく、毎日記録します。月ごとに収支を出し、余ったもの、特別にもらったお金は貯金箱に入れ、これがたまったと一緒に銀行等に出かけて通帳を作ってみたらいいでしょう。

ただし、おこづかいの使い道に関しては、しばらくは見守り、なるべく口を出さないようにします。「そんなくたらないものを購入して!」「買い食いばかりして!」と思うようなこともありますが、子どもの意志にまかせさせる勇気が大切です。そのかわり、おこづかいが不足しても、親が簡単に補ってはいけません。がまんすることを子どもに教えるチャンスです。失敗し、痛い目にあいながらも、自分でお金を管理することによって、お金の上手な使い方をおこづかいを通して教えることができます。



子どもの携帯電話について

子どものケータイについては、迷惑メールやネットいじめだけでなく、サイトトラブルに巻き込まれる問題も生じています。ケータイの長時間通話も親には気になる点です。こうした点を防ぐため、防犯ブザーと通話、居場所がわかるGPS機能に限定するキッズケータイが登場しました。必要なら、受信専用や上限を決めて使用料をおさえるプラン、有害サイトにアクセス制限ができるサービスも選べます。ケータイを持たせたいが、不安もあるというお母さん、販売店にまず相談してみましょう。



使用実感がない電子マネー

電車で塾などに通う子どもたちには便利な電子マネーカード。運賃だけでなく自動販売機やコンビニの買い物にも使えます。そのため、この電子マネーカードで買い食いしたり、漫画を購入したりする子どもが少なくありません。その月に必要な運賃の金額を事前に入金していても、すぐに電子マネーは不足し、親にチャージを要求することになります。電子マネーは使用実感がないだけに使いすぎる傾向にあります。子どもには、電子マネーもお金と同じということを話しておきましょう。



お手伝いとお駄賃

少し前までは、子どもが買い物などの簡単な雑用を引き受けると、引き換えにお駄賃を与えたものです。お駄賃が子どものおこづかいでした。子どもは仕事をしてお金を稼ぐことを知ったともいえます。今は、定期的におこづかいを与える家庭が多く、手伝いをして、これは共同生活をする家族の義務と考え、お駄賃を与えない家庭が多いようです。どちらがいいとはいえません。しかし、お駄賃を与えない家庭でも、子どもが特別な手伝いをしたときにはお駄賃を与え、仕事でお金を得る意味を教えるといいかもしれません。

親子で話し合いながら、お金の使い方を身につけさせよう

月に1度、おこづかいの 収支を親子で話し合おう

子どものおこづかいの使い道に口を挟むのは慎んだほうがよいのですが、月に1度、おこづかいを渡すときには、1ヵ月のおこづかいの収支について親子で話し合ってみましょう。

毎日おこづかい帳をつけるのは、根気のいる作業です。最初は、その苦勞をほめて、ねぎらいます。もし、おこづかい帳の記入が長続きしないときは、項目が細かすぎないか、書くスペースが小さすぎないかをチェックします。

しばらくしておこづかい帳の記入になれてきたら、「こんなものを買っているの?」「などと使い道を話し合ったり、「おこづかいを持ってうれしかったことは?」「おこづかいの使い方でおもしろかったことは?」「どんなことに苦勞したのかな?」などと質問して、自分でおこづかいの使い方を振り返られるようにします。子ども自身が使えずなどの問題に気づき、自分で方向を修正していくのを見守りたいですね。

家計を子どもに見せて、 お金の大切さを一緒に考える

子どもがわが家の家計に興味をもちはじめたら、「子どもはお金の心配をしなくて」「子どもが首を突っ込むようなことではな」「などといわないで、なるべく家計簿を見せて、このようにお金が入ってきた、このように項目にお金が出ていくという「お金の流れ」を話しましょう。それによって親の苦勞や親の工夫、親の愛や期待を知ることにもなります。おこづかいが足りないというようなくまきも、家計簿を見せて話し合えば子どもは納得し、自身のおこづかいの使い方を工夫するようになるかもしれません。

生協のおこづかいゲーム に参加してみよう

生協では、親子で遊びながら金銭感覚を身につけるために「おこづかいゲーム」の催しを行っています。ここでは引いたカードの指示に従って、買い物をしたり、手伝いをしてお駄賃をもらったりしながら、おこづかいを「もらう」「使う」「おこづかい帳に記録すること」を体験します。さらには銀行にお金を預けたり、ときにはお金を落とすとして、さとうしようというカードを引くハプニングも生じ、はらはらどきどきの楽しいゲームです。子どものお金の使い方を見て一緒に参加するお母さんもお金の使い方を考え直すきっかけになったという意見もありました。

対象は幼稚園児から小学校低学年までの子どもと親です。ぜひ、興味のある方はご参加ください。ただし、一部には実施していない生協もあります。ご了承ください。



次号(9月号)テーマ いざという時のために身につけたい救命処置

check it!

子どもがお金と上手につきあうための

10のポイント

- 1 おこづかいと同時にこづかい帳、貯金箱、財布も与える
- 2 500円、1,000円のおこづかいはコインで与え、計算して使う習慣を
- 3 友達同士でもの売り買いをしない、おごらない、学校帰り、塾帰りに買い食いをしない、貯金するなど、わが家のお金の使い方のルールを決める
- 4 お手伝いの報酬やお駄賃などのルールも一緒に考える
- 5 お祝いなど大きなお金は親が一時的に預かり、礼状を書かせる。ときにはおこづかいからプレゼントなどの心遣いも教える
- 6 祖父母兄弟など親戚の間でお年玉やお祝い額は決めておく
- 7 ケータイの使用限度額を決めておく
- 8 おこづかいは自分で管理させ、使い方にお出しせずに見守る
- 9 月に1度、おこづかいの収支報告をしてもらう
- 10 ルール違反には厳しく対処する

CO-OP共済 たすけあい

共済金の請求忘れはありませんか!?

共済金お支払い事例から

CO-OP
共済
ニュース

事故(ケガ)通院

50代・女性

自宅で調理中に、落とした食材を拾おうと、しゃがんだ時に調理台の引き出しに膝を強打し、左膝を骨折した。

通院日数 18日
コース L3000円コース
共済金 36,750円(固定具含む*)

事故(ケガ)通院

8歳・男子

自宅で、電子レンジで温めていたものを取り出すときに足にこぼしてしまい、やけどした。

通院日数 10日
コース J1000円コース
共済金 20,000円

■事故(ケガ)通院でお役に立てた事例

加入コース	年齢	性別	ケガの内容	通院日数	お支払い金額
J1000円コース	10歳	男子	学校の廊下を靴下で歩いていたため、滑って転倒。口と歯を打撲した。	4日	8,000円
J1000円コース	10代	女子	中学校の体育館で、バレーボールの練習中に、転倒して足を捻挫した。	6日	12,000円
V2000円コース	20代	男性	帰宅途中に、釘を踏んでしまい、左足の裏に刺さった。	8日	12,000円
L2000円コース	40代	女性	庭で草刈をしていた時に、鎌で左手中指を切った。	5日	5,000円

■病気入院でお役に立てた事例

加入コース	年齢	性別	病名	入院日数	お支払い金額
L2000円コース	20代	女性	甲状腺腫 女性特定病気入院含む	5日	40,000円
L2000円コース	40代	女性	乳がん 女性特定病気入院含む	8日	64,000円
J1000円コース	10歳未満	女子	B型インフルエンザ	10日	60,000円
V4000円コース	40代	男性	C型慢性肝炎	23日	230,000円

支払い対象になる手術を受けられた場合には、上記のお支払い金額に別途手術共済金を合算してお支払いしています。

*固定具について、骨折や靭帯損傷などによりギブスなどで固定していた場合は、『通院していない日×0.5』が通院日数に加算される場合があります。
●(たすけあい)共済金2009年3月度お支払いデータより ●お支払い事例はあくまで例です。実際のお支払いはケースによって異なります。

なるほど Q&A

CO-OP共済に関する様々な疑問にお答えします

Q 共済金の請求を忘れてしまいました。いつまで請求できますか。

A 共済金受取人が共済事由の発生を知ったときから3年間、共済金の請求手続きをしなかった場合、時効となり、共済金を支払わないことがあります。ただし、一定の基準を満たせば、お支払いしますので、お早めにご請求ください。

